

平成 23 年度各会計予算

概 要	2 ～ 3
総括質疑・委員長報告・討論	4 ～ 6
こんなことが決まりました	7 ～ 9
条例の制定・改正・特別委員会設置など	
一 般 質 問	10 ～ 11
町の歴史・文化財紹介	12
(江戸時代の鵜羽神社の祭礼「十日祭」④)	



3月定例会

平成23年度予算

一般会計外5特別会計を可決

地上デジタル放送難視対策 無線送信アンテナを建設 人口減対策定住促進事業に着手 地籍調査事業計画を策定

平成23年第1回議会定例会は、3月3日から11日までの9日間を会期として開催されました。

平成23年度の一般会計外5特別会計予算は、総括質疑を行った後、議員全員による特別委員会を設置し、審査を行いました。

提出された18議案と諮問1件及び発議案1件を質疑の後可決しました。

2議員が一般質問を行い町政の課題を問いました。

予算編成方針

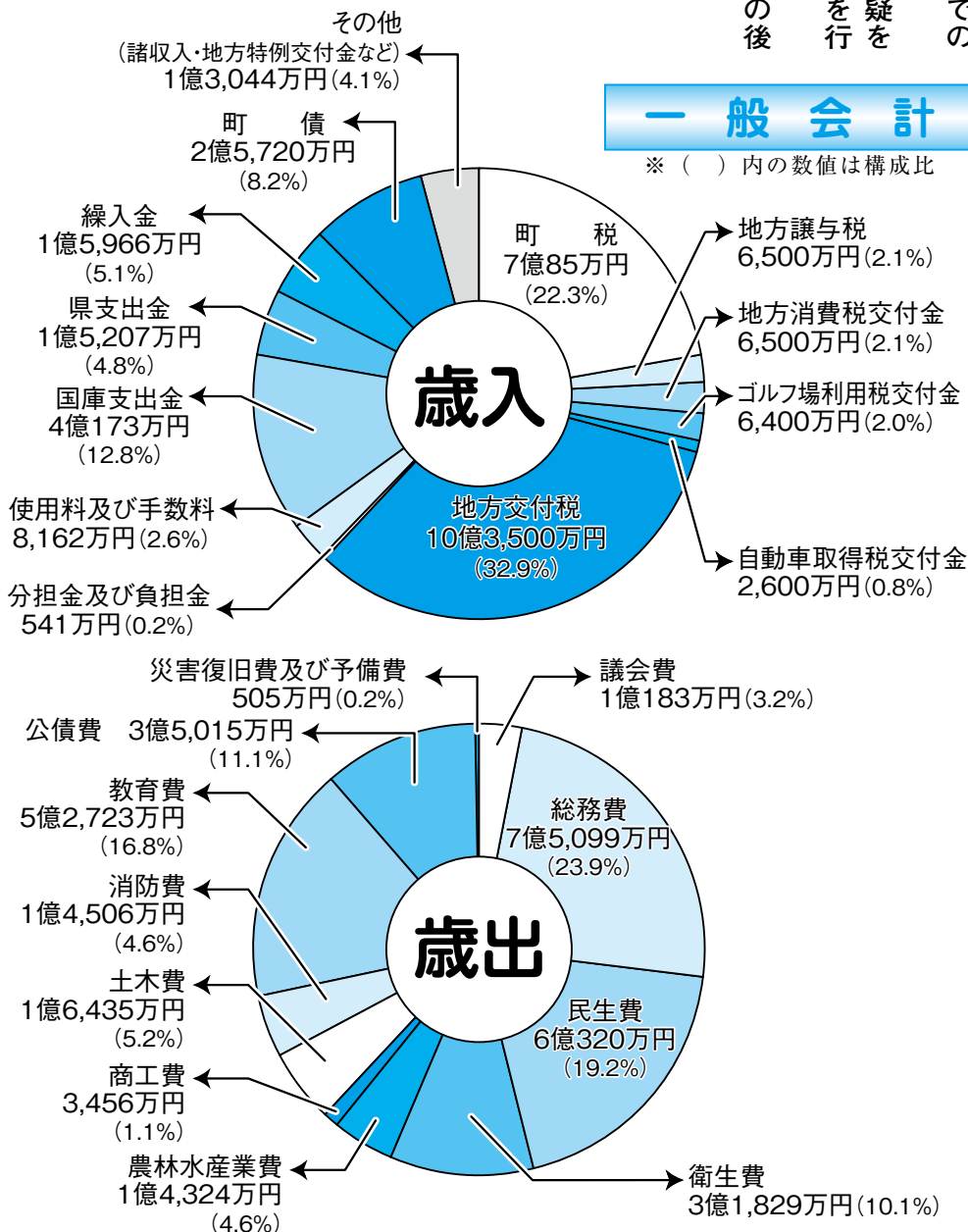
景気は足踏み状態を脱出しつつあるものの、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある中、デフレの影響や雇用の悪化懸念が依然残っています。

本予算は、地上デジタル放送の難視対策、福祉及び子育て支援など扶助費の確保、人口対策として定住促進計画、地籍調査事業の計画作成、文教施設整備など必要性を十分検討し編成しました。

31億4,400万円でスタート

一般会計

※ () 内の数値は構成比



特 別 会 計

国民健康保険特別会計

9 億 5, 0 5 7 万円

後期高齢者支援金、介護給付金、特定健康診査、特定保健指導及び人間ドック事業など。

農業集落排水事業特別会計

7, 7 9 7 万円

久保・北部両地区処理施設の管理費、特定地域生活排水処理事業の管理及び新規浄化槽設置工事など。

介護保険特別会計

6 億 3, 0 6 2 万円

居宅・施設介護サービス給付費、居宅介護福祉用具購入費、居宅介護住宅改修費、居宅介護サービス計画給付費、特定入所者介護サービス費、地域包括支援センターでの総合相談等の経費など。

かずさ有機センター特別会計

1, 8 8 9 万円

農地・水・環境保全向上対策営農活動交付金制度の見直しに伴う暫定予算。ふん尿処理、もみ殻回収及び施設維持管理費など。

後期高齢者医療特別会計

7, 3 8 8 万円

保険料徴収経費、後期高齢者広域連合納付金、人間ドック補助金など。

総務費

地デジ難視対策無線共聴施設工事、地籍調査計画作成委託料、住民基本台帳システム改修費、改善センター庁舎等の改修工事、県・町議会選挙の経費など。

民生費

福祉交流センター指定管理業務委託料及び負担金、補助金、障がい者の自立支援給付事業、こども手当の上積み分など。

衛生費

心の健康づくり基金事業、子宮頸ガン・小児肺炎球菌ワクチンの接種費用助成、こども医療費助成、コミュニティ・プラント維持管理経費など。

農林水産費

道の駅案内板設置工事、寺崎・大上地先の排水整備工事、耕作放棄地解消事業補助金及び新規事業米作付補助金など。

商工費

町商工会・観光協会活動支援補助金、町内福祉施設の雇用委託費など。

土木費

橋梁修繕計画策定委託料、道路改良、道路維持・舗装補修工事、町営住宅改修費など。

消防費

常備消防・非常備消防負担金、一般住宅の耐震診断・耐震改修工事補助金など。

教育費

土睦小学校のバリアフリー化工事、各小中学校施設改善経費、特別支援教育支援員の雇上賃金、全保育室へのエアコン設置、生涯学習推進事業、資料館展示公開事業経費、睦沢ふれあいスポーツクラブ業務委託料、体育館改修工事など。

公債費

町債の元利償還金



こども園入園式

一 般 会 計

総 務

疑

東條勝昭議員 人口対策として定住促進の調査、計画策定の委託内容とは。調査と計画を委託するという点とか。

質

企画財政担当主幹 アンケートの分析・報告書の作成等、一部委託を考えています。

括

荻野新衛議員 地デジの難視対策だが、可視地域でも経費負担がかかっている。難視地域との公平性についての考えは。

総

町長 エリアによって差がないような対応をします。
市原時夫議員 町の特徴を生かした施策という視点に立っていない。住民の暮らし、効率的な運営、行政への信頼、住民参加という点をどう見るのか。

町長 与えられた予算の中で、町民が少しでも希望が持てるような形で執行します。

議員 地籍調査実施計画作成委託があるが、これは緊急に必要なのか。

企画財政担当主幹 地籍調査は、本県の進捗率が非常に低いため実施します。費用は、特別交付税を活用します。

財 政

今関澄男議員 新会計制度が平成23年度から導入されるが、健全な財政運営を図るため、予算の段階で制度の内容を早期に把握すべき

と思うが。

企画財政担当主幹 新公会計制度の関係は、平成22年度の決算から公表を行っています。今手続を進めています。

議員 平成23年度予算提案説明の中に第1期実施計画の最終年度という位置付けがないが。

町長 決して無駄のない形の中で、予算を組み込んで執行していくことが私の基本姿勢です。

教 育

今関澄男議員 新学習指導要領の取組みの経過は。



桜のトンネル (妙楽寺)



エアコンの設置 (こども園)

教育長 小学校は23年度から、中学校は24年度から実施になります。今年度、予算計上されており、幼・小・中連携をもって教育に努めます。

荻野新衛議員 新学習指導要領は、授業時間を増やさなければ消化できないか。

教育長 標準時数よりも若干多めの組み合わせの中で授業を展開していますので、土曜日を使わなくても実施できます。

幸治正雄議員 小学校のバリアフリー化の取組みは、国の教育指針か。

教育課長 安全・安心な学校づくり交付金でバリアフリー化を実施したいと考えています。

議員 学校全体をバリアフリー化するのか。

教育課長 低学年が生活できる分野について実施します。

市原時夫議員 臨時教諭3名とあるが、長期の臨時か。

教育長 特別支援を要する子供たちの対応として、国の財政措置もありますので、町で採用し、各学校に1人ずつ配置させています。

国保特別会計

市原時夫議員 町民生活にとつて過大であり、収入の少ない人は一割近い税負担になると思うが認識は。

町長 納税は国民の果たすべき義務です。税収が落ち込めば運営に支障をきたしますが、特殊な方については相談に応じています。

税務住民課長 税負担が高いとのこと指摘ですが、本町は郡内の低い方で推移しています。

農集排特別会計

市原時夫議員 新規浄化槽設置数が減少する中で更なる水質向上とは言葉が矛盾するが。



かずさ有機センター

市原時夫議員 介護保険を引き上げ、準備金を繰入れするが、支援・サービス部分は充実するのか。

また、地域包括支援センターの総合相談は、制度上介護保険会計で良

介護保険特別会計

町長 水質浄化維持継続のため生活環境の向上を目指して行きます。

今関澄男議員 新たな補助制度が制定されたが受益者負担の内容は。促進対策の具体的な考えは。

生活環境担当主幹 くみ取り転換の場合、県の助成があります。個人負担は増えませんが、広報などで普及に努めます。

幸治正雄議員 宅内工事に補助制度を設け、設置増を進めたらどうか。

生活環境担当主幹 現在は個人負担が実情です。公平性の問題もありますので、再度内部協議します。

かずさ有機センター特別会計

市原時夫議員 暫定予算であるが、補正はいつなのか。

健康福祉課長 毎年、給付が増額しており準備基金繰入れにより対応しています。総合相談は、なくてはならないものであり、充実に努力します。

委員の構成

議員全員による特別委員会

平成23年度予算審査特別委員会審査結果報告

委員長 市原重光

委員長 市原重光

副委員長 東條勝昭

副委員長 岡澤宏一

副委員長 中村 勇

審査の結果

慎重審査の結果、平成23年度陸沢町一般会計外5特別会計予算は、それぞれ原案の通り可決することに決定しました。

後期高齢者医療特別会計

市原時夫議員 県内の人間ドックの取組み状況は。

健康福祉課長 54市町村のうち27の50%です。

郡内では、長生村だけが未実施です。

指摘要望事項

一、若者定住促進計画策定は、外部委託に頼らず、多様な住民意見の集約や地域に根ざした経済的、効果的な手法によって、人口の減少や少子化対策を積極的に推進されたい。

一、地上デジタル放送の難視対策は、住民等しく視聴可能な環境づくりが基本であるが、維持管理等を含む今後の対応について更なる努力されたい。

一、地籍調査事業計画作成は、固定資産税算出の基礎情報であり、長期間で



予算審査特別委員会現地調査

一般会計

反対討論

市原時夫議員

土睦小のバリアフリー化、子宮頸がんワクチンへの助成など子育て支援の施策が盛り込まれ評価する。

しかし、住民の暮らしを守る雇用、地域経済の活性化、子育て支援、職員・議会・住民が一体となった町づくり、更に地デジ難視対策においては、町が主体性をもった施策を取り組むよう提案し反対です。

賛成討論

中村 勇議員

経済状況の厳しい中、地域活性化を主体とした住民生活優先の姿勢がうかがえる予算です。

地デジ難視対策では住民の平等性を考慮し、負担を求めず、難視解消に努力され、若者定住促進計画や自殺予防対策の相談支援、土睦小のバリアフリー化、耕作放棄地解消事業補助金などきめ細やかに取り組む予算であり、さらなる税の収納率の向上をお願いし賛成です。

反対討論

荻野新衛議員

地デジ難視対策の公平性の問題や本町に住みたくなくなるような定住者促進政策が先であり、時代の変化を的確に捉えた予算であってほしいという観点から反対です。

地上デジタル放送受信アンテナ

国保特別会計

反対討論

市原時夫議員

町は独自の力で住民負担やサービスを改善できるものであり、今こそ負担軽減に取り組むべきだ。

町民の納税への協力、保険給付費の安定、黒字会計であり負担軽減は十分可能なため、改善を求め反対です。

賛成討論

江澤利文議員

財政状況が厳しい中、一般財源からの繰入れも行わず基金確保もされ、町民の暮らしと健康を支える役割を果たしています。今後も検診受診率の確保、保健指導を推進し安定した運営に努力を求め賛成です。

介護保険特別会計

反対討論

市原時夫議員

保険料の月額50円の引き上げや「軽度の要介護」

を「要支援」とすることは、要支援の方を追い出し、責任を町に押しつけようとするものです。

歳出の見直しや負担軽減を図り、制度を根本から改善することを求め反対です。

賛成討論

東條勝昭議員

本予算は居宅介護サービス給付費や施設介護サービス給付費等、保険給付費の増加が見込まれていますが、二次予防事業の運動機能向上プログラムでは定員を増やし、健康教室など地域協力の充実が見られます。23年度は第5期介護保険事業計画の策定年度であり、サービス給付費等、被保険者の意向に沿った計画となることを望み、賛成です。

後期高齢者医療特別会計

反対討論

市原時夫議員

人間ドック補助制度を町が積極的に取り上げ、5割の自治体が制度を活用され

たことは評価する。

しかし、年齢差別医療、お年寄りいじめ、庶民への不公平な医療制度の最たるものであり、高齢者の医療は国の責任で無償化すべきという立場から反対です。

賛成討論

高橋 清議員

保険料率は昨年と同率であり、安心して医療を受けるためにはなくてはならない制度です。

本町では人間ドック助成事業に積極的に取り組んでおり、更に充実した制度となることを望み賛成です。



大勢参加の特定健診

こんなことが決まりました

条例の制定・改正など

〔議案第1号〕

損害賠償の和解

睦沢こども園の延長保育中に発生した園児の転倒事故の和解であり、損害賠償は12万3千75円です。

質疑

市原時夫議員 議会の議決が必要か。

総務課長 地方自治法の規定により必要です。

議員 後遺症の可能性などは。

教育課長 示談交渉の中で、歯医者との定期診断を受けるということとで合意しています。

荻野新衛議員 和解について、弁護士の見解は。

教育課長 町の顧問弁護士に意見は伺いました。

議員 ゴム製の便器は。

教育課長 その素材も検討しましたが、陶器のほかはありませんでした。

幸治正雄議員 床材が、滑りやすい材質でなかったのか。

こども園長 床材は逆に滑らない素材です。

〔議案第2号〕

睦沢町心の健康づくり基金条例の制定

住民生活に光を注ぐ交付金を受け、自殺予防や高齢者等弱者を支援する人材を確保し、適正な管理・運営のため設置するものです。

質疑

市原時夫議員 自殺・虐待の公的実態は。

国保健康担当主幹 自殺関係は、20年度2人、21年度5人です。

健康福祉課長 虐待関係は、21年度8件、22年度は3件です。

議員 総合相談支援事業、包括継続的ケアマネジメ

ント事業は単なる児童、高齢者福祉だけでなく、総合的に行う事業だが、人的体制は。

町長 町民全体や地域で支えることが必要です。

国保健康担当主幹 新たに保健師、看護師の採用や情報の共有に努めてまいります。

今関澄男議員 基金目標額と専門的な人材確保や相談員育成の考え方は。

国保健康担当主幹 23年度145万円、24年度172万円の計317万円です。

専門的な知識や状況判断のできる方をお願いします。



自殺総合対策パンフレット

〔議案第3号〕

町長等の給料の特例に関する条例の一部改正

町長等の給料を平成23年4月1日から平成24年3月31日までの1年間、町長10%、副町長10%、教育長5%の率で減額するものです。

質疑

荻野新衛議員 特別職報酬審議会の意見は。他町の状況は。期末手当をなぜ減額しないのか。また、時限的でなく条例化する考えは。

総務課長 審議委員から引き下げ幅を緩和の意見が出ました。

状況は、自治体により異なります。

副町長 期末手当は、経済状況を見た中で決定しております。

〔議案第4号〕

睦沢町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

出産育児一時金支給額42万円の適用期限を恒久化するものです。



活発なウエストへるス塾

質疑

市原時夫議員 国の制度では不妊治療の助成の拡充も盛り込まれており、安心という視点から同様に出すべきでは。

国保健康担当主幹 県では保健センターに申請し、年2回、1回当たり15万円の助成をします。

〔議案第5号〕

千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議

補正予算・その他

(議案第6号)

平成22年度陸沢町一般会計補正予算(第3号)

1千85万6千円を減額し、補正後の予算額は29億8千958万1千円となりました。

歳入は、特別地方交付税及び財政調整積立基金、ふるさと創生基金からの繰入金は、財源調整のための減額です。

地域活性化・光を注ぐ交付金など国庫負担金、長者団地、中央団地、大谷木地先調整池の売払いなど財産収入等が主な追加です。

歳出は、総務費で財政調整基金、ふるさと納税寄付金等積立金、教育費で中学校の特別教室への空調設備工事費等の追加です。

民生費で子ども手当等扶助費、衛生費で子供医療費の償還払い分及び浄化槽整備に伴う返還補助金による減額です。

農林水産業費は、農集排事業特別会計への繰出金、

町耕作放棄地対策協議会交付金の減額等が主なものです。

質疑

市原時夫議員 学校給食地元産導入補助金削減の内容は。

教育課長 米について学校給食会とJA長生からの購入差額を補助していました。が、JAからの購入が安価のため減額しました。

議員 公民館の備品プロジェクト購入は最新式か。

生涯学習担当主幹 現在、2台有りますが、頻度が多く、最新式を1台購入したい。

鶴澤弘議員 年間契約の園児等送迎委託料が増額しているが。

教育課長 こども園や小学校のスクールバスの使用が20日程度延びたためです。

今関澄男議員 12月議会では2億円余りの追加補正を計上し、本会議では減額だ

が決算を見通した補正か。また、心の健康づくり基金の補正予算の内容は。

企画財政担当主幹 年度末であり、事業執行の残額等整理のための減額補正です。

基金は、国の補正に対する光を注ぐ交付金の積立てです。

議員 減額した子ども手当の当初予算との相違内容は。

健康福祉課長 公務員の場合、勤務先の自治体からの受給となります。



園児・児童送迎用スクールバス



交通安全看板 (下之郷寺崎線)

当初、該当する子どもデ

ータは本町の住居が基本のため、差額が発生しました。

荻野新衛議員 下之郷寺崎線の交通安全看板の設置は反映されているか。また、耕作放棄地対策事業協議会交付金減額の内容は。

地域振興課長 看板については既に発注済です。

交付金は県と協議し、経済効果がないことから減額しました。

幸治正雄議員 公民館の工事請負費の内容は。

生涯学習担当主幹 図書室のエアコンと防犯カメラの取り換え工事です。

(議案第7号)

平成22年度陸沢町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

2千308万9千円を減額し、補正後の予算額は10億233万6千円となりました。

質疑

市原時夫議員 療養給付費などの減額は、事前の予防策、健康診断等の影響があるのか。また、退職者保険の見通しは。

国保健康担当主幹 診療件数は増えているものの、医療費は減少しています。

被保険者の健康意識の高揚が図られています。

退職被保険者は増えてい

ます。

(議案第 8 号)

平成 22 年度陸沢町老人保健特別会計補正予算(第 2 号)

14 万円減額し、補正後の予算額は 15 万 4 千円となりました。なお、平成 23 年 3 月 31 日で廃止です。

(議案第 9 号)

平成 22 年度陸沢町農業集落排水事業特別会計補正予算(第 3 号)

2 千 450 万 4 千円を減額し、補正後の予算額は 6 千 373 万 2 千円となりました。

歳入は、合併浄化槽設置数減少による国庫支出金・繰入金・町債の実績見込みによる減額です。

歳出は、実績見込みによる減額です。

質疑

市原時夫議員 合併処理浄化槽の設置数が減少しているが、住宅のリフォーム時に推進をはかるべきでは。
町長 維持管理などで経費のかからない特定地域合併処理浄化槽を推進します。

(議案第 10 号)

平成 22 年度陸沢町介護保険特別会計補正予算(第 3 号)

2 千 178 万 3 千円を追加し、補正後の予算額は 6 億 2 千 358 万 6 千円となりました。

歳入は介護給付費準備基金など取崩し額確定による繰入金の追加です。

歳出は、介護給付費準備基金への積立金、精算による国・県への返還金等の追加です。

質疑

市原時夫議員 アンケート調査委託料の減額は契約上の減額か。
健康福祉課長 業者の確定による減額です。



合併浄化槽設置工事

(議案第 11 号)

平成 22 年度かずさ有機セクター特別会計補正予算(第 1 号)

610 万 6 千円を追加し、補正後の予算額は 3 千 252 万 6 千円となりました。

歳入は、前年度繰越金の追加です。

歳出は、基金への積立金の追加です。

(議案第 12 号)

平成 22 年度陸沢町後期高齢者医療特別会計補正予算(第 2 号)

1 千 591 万 9 千円を減額し、補正後の予算額は 7 千 314 万 3 千円となりました。

歳入は広域連合で決定した保険料の減額です。

歳出は保険料と保険基盤安定分の減額です。

質疑

市原時夫議員 保険料の減額が大きい。
健康福祉課長 広域連合から示された金額です。
平成 20 年度と 21 年度の決算見込みの剰余金が要因です。

(諮問第 1 号)

人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

住所 陸沢町寺崎

1 6 8 5 番地

氏名

森 正美 氏

昭和 22 年 2 月 22 日生

(発議案第 1 号)

陸沢町議会議員定数問題等調査特別委員会の設置を決定

平成 23 年 1 月 31 日・2 月 15 日に議員全体会議が開かれ、議員定数問題等を協議するため、調査特別委員会を設置し、協議することとしました。

第 1 回陸沢町議会議員定数問題等調査特別委員会が 3 月 11 日に開催され、目的、定数及び調査期間の決定と委員長・副委員長の選任が行われました。

一、目的 議会議員の定数問題等について、調査を行う。

二、定数 議会議員全員
三、期間 調査終了まで



第 1 回 特別委員会

お知らせ

長生郡市広域市町村圏組合議会議長に就任

3 月 30 日、平成 23 年長生郡市広域市町村圏組合議会第 1 回臨時会で、本町の中心義徳議長が、長生郡市広域市町村圏組合議会議長に選任されました。

一般質問

市原 時夫 議員

町政の課題を問う

出産一時金増額など
子育て支援の魅力ある町へ

町長 国庫補助の充実を要望

本町の出生率は、県内 56 市町村中 49 位の 1.02 です。背景には、大企業のリストラ、庶民増税、福祉の後退などの将来不安、低収入で結婚できない、子供を産み育てられないなどの状況がある。大企業だけを榮えさせる戦後政治の仕組みを改めることが必要だ。

本町は、努力をされてきているが、より子育て支援で活気あるまちづくりが必要ではないか。

第一に、出産一時金を 42 万円から平均費用の 47 万 3 千円以上の実情にあった額にすべきでは。

町長 国庫補助の充実がまず必要です。

議員 子供の医療費助成は段階的に引き上げられ、千葉県も拡大してきている。中学校卒業まで実施してはどうか。

町長 総合的なバランス・財政の中で考えます。

議員 財政面では、問題ないのではないかと。

国保担当主幹 474 万円ほど上がると考えます。

議員 こども園、小中学校



出動する救急車（佐賀分遣所）

介護サービス後退ではなく充実を

調査結果をふまえて計画します

議員 高齢者向け実態調査結果は。介護保険改正案は、軽度介護認定者の切り捨てなど改悪だ。充実の視点から国に要望すべきでは。

東金・九十九里医療センターより長生病院充実を

長生病院充実で一致

議員 本町に財政支援をといた文書が東金市・九十九里町連名で出ている。

救急医療センター運営赤字分、二分の一を周辺自治

教室へのエアコン設置は。教育長 全保育室完備を予定しています。小中学校は、特別教室。土曜小で図書室・音楽室。瑞沢小で多目的室・理科室。中学校で図書室・音楽室と優先順位を決め設置します。

議員 学童保育の希望者が増えている。指導員の正規化など労働条件改善が必要では。

町長 賃金など郡内平均であり、現状で進めます。

町長 アンケート結果については回収率 85・9%でした。現在集計分析中です。調査結果をふまえて計画策定に役立てます。

体に求めるものだ。

報道によると山武・いすみ市は県が支援するべきとし、茂原市は要請に応じないとしている。

本町に正式な要請があったのか。

副町長 東金副市長と県の福祉課長から、年間一億円見込まれる不足額があり支援をお願いしたいと話がありました。

議員 全国的にも巨大病院集中型で経営問題が浮上していることや長生病院サテライト化などが問題であるが。

今大事な長生病院の救急体制・産科・小児科などの充実を優先すべきではないか。



公立長生病院

町長 長生病院充実が第一だということで、首長間では一致しています。それで対応します。

一般質問

荻野 新衛 議員

将来を見すえたまちづくり 委員会の設置を

町長 新たな人材の参加を含め検討

バブルがはじけ、リーマンショック等、数々の課題、問題が山積し出口の見えない長いトンネルの中をさまよう様な展望のない状態の中で町の将来を考える時、今一度違った観点から町づくりを考える必要があると思う。

町が今後も自立し、住んでいて良かったという町にするために、各階層、多種多様な人達で町の将来を考える戦略的な組織が必要と考えるが。

休耕地対策は

新たに町単独補助金を計上

議員 環境・防犯・不審火などの問題のある休耕地が目につくが利用方法を考えれば負の財産がプラスになるのでは。

町長 耕作放棄地を解消することは緊急の課題です。

新年度予算に町単独による耕作放棄地解消補助金を10アール当たり2万円計上しました。

議員 農家、農業者だけでなく団塊世代の人たちの意



休耕地に植えた梅 (大上)

見など別の観点からも考えるべきと思うが。

町長 町民の意見を聞いて陸沢に一番良いかたち、陸沢らしさというものを出した。

町長 対話による納得の町政を行政運営の主眼に据え町民との生の声を町政に反映させ不公平感のない町政運営に努力を重ねてきました。

多くの方々の意見と参加が重要な委員会、協議会それぞれの分野で多数設置されているので、今後再編成と新たな人材の参加を含め検討して、より良い町政運営に努めます。

若者定住促進事業先進地視察

平成23年第1回定例会の会期中である3月6・7日に町長はじめ全議員で長野県下條村、群馬県上野村を視察しました。

下條村は、隣接の飯田市のベッドタウンであり、人口4千163人、1千295世帯です。特に、道路補修工事等の社会資本整備は、村が資材支給を行い、住民自らが施工することで財源確保に努め、保育料40%引き下げや高校生まで医療費無料化等少子化対策に取り組んでいます。

主題である若者定住促進住宅建設は、平成9年から平成18年度まで集合住宅10棟124戸、さらに平成20年度は、光ケーブルによるテレビ、高速インターネット完備の15世帯を町単独費で建設しており、全国平均を大きく上回る出生率2・07人を実現しています。

上野村は、町予算約35億円、東京電力発電所等の固定資産税22億6千万円を主な財源とした人口1千383人、



若者定住促進事業先進地視察 (群馬県上野村)

614世帯の山間の小さな自治体です。

平成5年度から村営住宅整備を始め、単身・世帯用の1戸建・集合と利用者のニーズに合った100世帯を建設目標としています。

後継者対策では、生活補助・住宅資金借入金利子助成・結婚祝金などの支給、保育料2千円の子育て支援、その他ネット利用料月額500円など定住・移住促進に様々な支援制度が整備されていました。

本町の人口対策において、両村の徹底した住宅・子育て環境整備事業は大いに参考となりました。

町の歴史・文化財紹介

江戸時代の鵜羽神社の祭礼「十日祭」④

玉前神社に残されている「八月十日御祭礼恒例之次第」という江戸時代の古文書から、当時の祭礼の様子を連載で読み解いています。

9月10日、岩井の鵜羽神社の神輿は一

宮町の玉前神社に渡御すると、神楽殿前で神輿くぐりと境内「西の山」での儀式後、神輿を社殿に入れて儀式をおこない、これがすむと一宮町東浪見の海岸にある釣ヶ崎の祓所へ御神幸しました。祓所では御弓役人が馬上で丑寅の方角(東北の方角)に向けて白羽の矢2



写真 鵜羽神社「十日祭」の八雲神社神饌

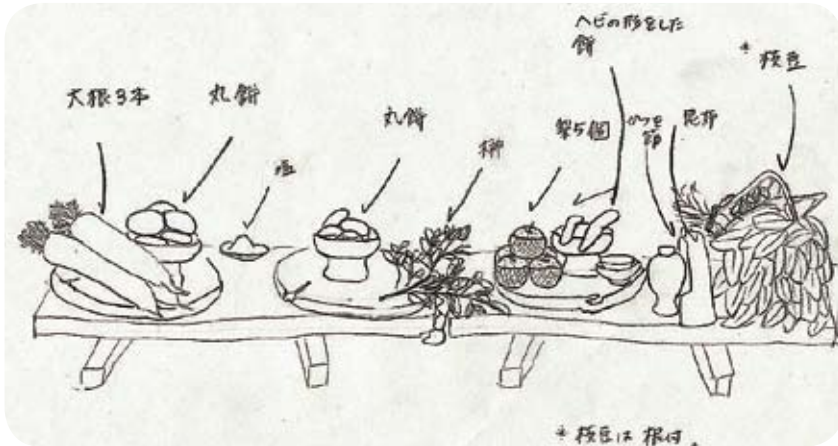


図 鵜羽神社「十日祭」の八雲神社神饌見取り図

筋を放ち、御祭礼場の神木の下に荒蕪を敷いて神輿を大海原に向けて据え奉り、御神酒と細長いお供え餅を大小2つ供えました。2つの供え餅は二柱の

姫神を表すといわれています。このとき鰐節4連4節・カジメ8駄・鞘付き大豆4駄が、岩井の河野外記方より捧げ奉られました。

このくだりで注目すべきことは、現在では鵜羽神社の神輿は一宮町の上の原の八雲神社までしか渡御しませんが、この古文書が書かれた江戸時代の1774

(安永3)年には鵜羽神社の神輿が釣ヶ崎まで行っていたことが記されていることです。また、釣ヶ崎での供え物に鰐節・カジメ・鞘付き大豆が記されていますが、現在でも八雲神社での神事に、カジメは昆布に変わりましたが、鰐節・鞘付き大豆が供えられていることは、江戸時代と変わらな

議会の傍聴しませんか

第2回(6月)定例会は
6月17日(金)から
開催の予定です。

詳しくは、
議会事務局 44-2510へ
お問い合わせください。

学芸員 久野 一郎

編集後記

平成23年第1回議会定例会の帰宅途中、突然車のラジオから聞こえた緊急地震放送。そして、激しい横揺れ。3月11日東日本を襲った巨大地震は、東北3県の太平洋沿岸に壊滅的被害を与えたほか、被災は本県をも含む広範囲に及んだ。

加えて、福島第1原発事故による高濃度の放射線物質の放出は、被害に追い打ちをかけ、その傷跡は余りにも深い。被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

連日にわたる報道に心を痛める中で、情報の必要性がいかに大事か痛切に感じられる。

一丸となって復興に立ち向かう人々、その中での人と人との絆、コミュニティの重要性を再認識する。議会だよりの編集委員となり早3年になるが、議会の情報源としての重要性を深く心に刻み、町民の皆さんに愛読されることを願い、編集に取り組みます。

S・I